

# 第3学年1組 算数科学習指導案

日時 令和5年6月16日(金) 第5校時  
場所 小学校 3年1組教室

## 1 単元名 「わり算」

2 単元目標 除法の意味について具体物の操作をもとに理解し、場面を除法の式に表すことができる。また、除法の答えの求め方について具体物の操作や乗法をもとに考え、除数と商が1位数である場合の除法の計算をすることができる。

## 3 既習内容との関連と、本単元の評価規準

【前単元までに身に付けてきた内容】

- 1年 9 3つのかずのけいさん
  - ・具体物に等分し、図や式に表すこと
- 2年 10 かけ算
  - 11 かけ算九九づくり
  - 15 かけ算のきまり
  - ・乗法の意味と式表示、計算
  - ・乗法九九の構成と計算
- 3年 1 かけ算
  - ・乗数や被乗数が0、10の場合の乗法

【本単元の評価規準】

| 知識・技能                                                                                                                                                   | 思考・判断・表現                                                                                                         | 主体的に学習に取り組む態度                                                                                                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・除法の意味(等分徐、包含徐)を理解できる。</li> <li>・場面を除法に表すことができる。</li> <li>・除数と商が1位数である場合の除法について、乗法九九を用いて答えを求めることができる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・数量の関係や分け方に着目し、等分徐、包含徐の意味や答えの求め方を具体物の操作や既習の乗法、減法や図を基に考え、説明できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・除法の意味や計算の仕方について、具体物の操作や乗法などから捉えようとする。</li> <li>・身の回りから除法の場面を見出すなど、除法の計算を生活や学習に生かそうとする。</li> </ul> |

【今後の学習へのつながり】

- 3年 9 いろいろなわり算
  - ・乗法九九1回適用のあまりのあるわり算
  - ・あまりと除数の大小関係
  - ・あまりの処理
- 3年 10 大きな数のわり算
  - ・除数が1位数で商が2位数の除法
- 4年 2 わり算の筆算
  - ・2、3位数÷1位数の計算原理、方法、筆算
  - ・除法の確かめ

## 4 児童の実態 (男子8名 女子7名)

- 〈レディネス及び事前アンケートの結果〉
- 乗法九九をもとに乗数を求める(全4問)
    - 例)  $3 \times \square = 18$  等
    - 正答 11名
    - 1問誤答 2名
    - 2問以上の誤答 2名
  - 乗法九九をもとに被乗数を求める(全4問)
    - 例)  $\square \times 2 = 16$  等
    - 正答 10名
    - 1問誤答 2名
    - 2問以上の誤答 3名
  - 乗法の場面の式表示(全1問)
    - 問) 子供が6人います。1人に2dLずつジュースをあげます。ジュースは全部で何dLありますか。
    - 正答 8名
    - 乗数と被乗数が逆 3名
    - 誤答・無回答 4名
  - 簡単な等分徐の場面の理解(全1問)
    - 問) 6このおはじきを3人で同じ数ずつ分けると、1人分は何個になりますか。
    - 正答 11名
    - 誤答 2名
    - 無解答 2名
  - 簡単な包含徐の場面の理解(全1問)
    - 問) 8冊のノート、1人2冊ずつ分けると、何人に分けられますか。
    - 正答 13名
    - 無解答 2名
- レディネスの結果から、九九の記憶が不完全な児童が3名ほど見られる。百マス計算などを用いて九九の定着を図るとともに、各単元時間については、九九の学習内容を前提として考えることができるよう、黒板に九九表を掲示するなどの支援を行う。また、問題場面を想起することに困難を抱える児童もいるため、具体物の操作をもとに、問題場面が正しく捉えられるようにする。

## 5 学習過程の工夫

- つかむ
  - ・学習の足跡(等分徐の考え方)を掲示し、振り返ることができるようにしておく。
  - ・分かっていることに直線、聞いていたことに波線を引き、前時までの学習との違いを明確にさせることで、児童が解決すべき課題を自分で見出すようにする。
- 考える
  - ・①既習事項の掲示②ヒントコーナーの設置③ICTを用いた意見の共有を行うことで、個々の学習状況に応じた学び方を選択できるようにする。
  - ・“考え方”を説明させることで、根拠を明確にした意見づくりができるようにする。
- 深める
  - ・①順序を表す言葉(まず～次に～など)②理由(どうしてかという～)の2点にこだわり、筋道立てた説明ができるようにする。
  - ・①相手の方を向く②ポイントを指さす③「ここまでいいですか」と聞く、の3点にこだわることで、相手意識をもった説明ができるようにする。
- まとめる
  - ・「さらに考えよう」を用い、具体物の操作と除法の式とを対応させて捉えることができるようにする。
  - ・NEW!GIFUWeb ラーニングを用いて、学習の定着をはかる。

## 6 板書計画

6/16 わり算

① p.61 1

分かっていること いちごが12こ、1人に3こずつ分ける  
 聞いていること 何人に分けられるか  
 これまでとちがうところ 何人分かが分からない  
 ・1人分の数が分かっている  
 ・何人に分けられるかを聞いている

〈学びのけいじばん〉 今日学習に使えそうな考え方はあるかな

～既習事項の掲示～

② いくつか分が分からないときは、どうすればよいか。  
 【おはじきで考える】

③ ま いくつか分をもとめるときは、図や式を使って、まとまりがいくつできるかを求めるといい。

1人に3こずつ  
 ⇒ 3こずつまとめてとって、何人分できるか  
 3のまとまりが4つできる  
 ⇒ 4人に分けられる

【ひき算で考える】  
 1人目  $12-3=9$   
 2人目  $9-3=6$   
 3人目  $6-3=3$   
 ○ 4人目  $3-3=0$   
 答え 4人

【かけ算で考える】  
 1人分  $3 \times 1 = 3$   
 2人分  $3 \times 2 = 6$   
 3人分  $3 \times 3 = 9$   
 ○ 4人分  $3 \times 4 = 12$   
 答え 4人

【アレイ図で考える】  
 P62の図  
 アレイ図  
 1人分が3こ  
 3のまとまりがいくつできるか

1人分が3こ  
 3ずつまとめてひく  
 3がいくつで12  
 $3 \times \square$ のかける数(何人分)をふやす

どの考え方も…3のまとまりがいくつ分できるかを考えている!

④ 12このいちごを1人に3こずつ分けると、4人に分けられます。このことをわり算の式で、 $12 \text{ (全部の数)} \div 3 \text{ (1人分の数)} = 4 \text{ (何人分)}$  と書く。  $12 \div 3$  の式で、12をわられる数、3をわる数といえます。

## 7 単元指導計画

### ○単元「わり算」における指導の核

児童は、本単元で初めて「除法」という演算方法を学習する。そのため、**除法とはどのような場面で用いられ、どのような意味をもつのか**ということについて、具体物や図をもとに理解することが重要となる。ここでいう除法が用いられる具体場面とは、**大きく等分徐・包含徐の2つ**がある。

等分徐とは、ある数量を等分したときにできる一つ分の大きさを求める場合で、次のような場面が考えられる。

【等分徐】12個のあめを3人に同じ数ずつ分けると、一人分は何個になるか。  
式  $12 \div 3$  答え 一人4個ずつ

包含徐とは、ある数量がもう一方の数量のいくつ分であるかを求める場合で、以下のような場面が考えられる。

【包含徐】12個のあめを1人に3個ずつ配ると、何人に分けられるか。  
式  $12 \div 3$  答え 4人

どちらも除法の式としては同じものとなっているが、その商や除数が意味するものは異なっている。そのため、単に乘法九九を用いた除法の計算ができればよいのではなく、問題場面を想起させ、**具体物をもとに考える活動**を行い、除法のもつ意味を理解させていくことが重要である。なお、等分徐と包含徐の意味の違いは、具体物の操作に最も現れる。そのため、具体物の操作と式を対応させる活動の中で、**等分徐は「1個ずつ分ける」方法、包含徐は「まとめて分ける」方法など、操作を表す言葉を用いて押さえていく**。また、児童は第2学年の「かけ算」において、乘法の意味を言葉の式で次のように表現している。**1つ分①×いくつぶん②=ぜんぶの数③** ここでいう①を求めるのが等分徐であり、②を求めるのが包含徐である。したがって、第2学年で学習した乘法の式の意味に立ち返り、何を求めているのかを明確にすることで、等分徐と包含徐の違いを理解できるようにすることが重要である。

こうした除法の意味理解をもとにしながら、最終的には、除数と商が1位数である場合の除法について、乘法九九を用いて答えを求めることができるようにしていく。

### ○本単元の評価規準

#### 【知識・技能】

- ① 除法の意味（等分徐、包含徐）を理解できる。
- ② 場面を除法に表すことができる。
- ③ 除数と商が1位数である場合の除法について、乘法九九を用いて答えを求めることができる。

#### 【思考・判断・表現】

- ① 数量の関係や分け方に着目し、等分徐、包含徐の意味や答えの求め方を具体物の操作や既習の乘法、減法や図を基に考え、説明できる。

#### 【主体的に学習に取り組む態度】

- ① 除法の意味や計算の仕方について、具体物の操作や乘法などから捉えようとしている。
- ② 身の回りから除法の場面を見出すなど、除法の計算を生活や学習に生かそうとしている。

### ○評価方法

- ・行動観察：机間指導等を通じて捉えた児童の活動の様子・発言・ノートの記述内容などの観察に基づいて評価する。
- ・ノート分析：授業後に児童のノートやワークシートを回収し評価する。
- ・ペーパーテスト：単元で学習した知識・技能などの内容が定着しているかを評価する。

※記録に残す評価（観点別学習状況の評価）を行う機会は「◎」印で表す。

| 小単元          |        | 一人分は何こ（等分徐）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 時数           |        | 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 2                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| ねらい          | 本時のねらい | 等分徐の場面について、具体物の操作などをもとに考える活動を通して、1つずつ分けるとよいことに気づき、等分徐の意味を理解して場面を除法の式に表すことができる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |                  | 等分徐の場面について、答えを計算で求める方法を考える活動を通して、等分徐の答えは乘法九九を用いて求められることに気づき、計算できる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|              | 評価規準   | 知①<br>ノート分析                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 思①<br>行動観察・ノート分析 | 態①<br>行動観察・ノート分析                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 主なつまづきとその手立て |        | ○まとめて分けてしまう。（等分徐の意味が理解できない）<br>⇒見通しの段階で、「1個ずつとって分ける」方法を全体確認する。おはじきを用いることで、操作と照らし合わせて説明できるようにする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                  | ○問題場面の想像ができない。<br>⇒黒板に具体物を示すことで、場面を視覚的に捉えることができるようにする。<br>○乘法九九が定着していない。<br>⇒教室前方に九九表を掲示し、必要に応じて活用できるようにする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|              | 指導内容   | <b>問題を提示する</b><br>・教科書 p. 57 の問題 <b>1</b> を読む。<br><b>か</b> 1人分が分からないときは、どうすればよいか。<br>・おはじきを使って、1人分が何個になるかを考える。<br>→1人に <b>1個ずつ</b> 分けていくと、1人分が4個のところでは12個ぴったり分けられます。だから、1人分は4個になります。<br><b>教える</b><br>12このいちごを3人で同じ数ずつ分けると1人分は4こになります。このことを $12 \div 3 = 4$ と書きます。 $12 \div 3$ や $18 \div 6$ のような計算を <b>わり算</b> といいます。<br><b>まとめる</b><br><b>ま</b> 1人分をもとめるには、 <b>1こずつ分けて配る</b> といい。 <b>わり算</b> の式になる。<br><b>見届ける</b><br>・ p. 59 鉛筆問題 1 に取り組む。<br>→できた人は Web ラーニングに取り組む。 |                  | <b>問題を提示する</b><br>・教科書 p. 59 の問題 <b>2</b> を読む。<br><b>か</b> わり算の答えを計算でもとめるにはどうすればよいか。<br>・九九を使ってわり算の答えを求める。<br>→図をかけ算の式にすると、 $\square \times 5 = 20$ の $\square$ にあてはまる数を求めれば、それが $20 \div 5$ の答えになることが分かります。 $\square \times 5 = 5 \times \square$ だから、 $20 \div 5$ の答えは、5の段の九九で求められます。<br><b>まとめる</b><br><b>ま</b> わり算の答えは、九九を使って求めることができる。<br>・鉛筆問題 2 を使って、九九を使ったわり算の答えの求め方を確認する。<br><b>見届ける</b><br>・ p. 60 鉛筆問題 3 ① に取り組む。<br>→できた人は残りの問題に取り組む。 |

| 小単元                                                                                             | 何人に分けられる (包含徐)                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                    |                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                 | 0や1のわり算                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 時数                                                                                              | 3 (本時)                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                    | 4                                                                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                 | 5                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                             | 6                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |
| ねらい                                                                                             | 包含徐の場面について、具体物の操作などをもとに考える活動を通して、まとまりで分けていることに気付き、包含徐の意味を理解して場面を除法の式に表すことができる。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                    | 包含徐の場面について、答えを計算で求める方法を考える活動を通して、包含徐の答えも等分徐と同じように乗法九九を用いて求められることに気付き、計算できる。                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                 | 等分徐と包含徐の問題を比較する活動を通して、それぞれの問題場面の式は同じでもその意味が異なることに気付き、図や言葉を用いて説明することができる。                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                             | 0を割ったり1で割ったりする計算を考える活動を通して、それぞれの場合がどのような場面を意味しているのかに気付き、図や言葉を用いて説明することができる。                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |
|                                                                                                 | 評価<br>規準                                                                       | 知①<br>ノート分析                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 思①<br>行動観察・ノート分析                                                                                                                   | 態①<br>行動観察・ノート分析                                                                                            | 知②③<br>ノート分析                                                                                                                                                                                                                                                        | 態①<br>行動観察・ノート分析                                                                                                                                | 知①<br>ノート分析                                                                                  | ◎思①<br>行動観察・ノート分析                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 態①<br>行動観察・ノート分析                                                                                                                                                                            | 知②③<br>ノート分析                                                                                           | ◎態①<br>行動観察・ノート分析                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |  |
| 主なつまづき<br>とその手立て                                                                                | ○等分徐との違いが理解できない。<br>⇒おはじきを分ける操作を行うことで、「1個ずつ分ける」と「まとめて分ける」ことの違いを視覚的に捉えられるようにする。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                                                                    | ○問題場面の想像ができない。<br>⇒黒板に具体物を示すことで、場面を視覚的に捉えることができるようにする。<br>○乗法九九が定着していない。<br>⇒教室前方に九九表を掲示し、必要に応じて活用できるようにする。 |                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                                                                                                 | ○等分徐と包含徐の違いが理解できない。<br>⇒これまでの学習内容を具体物の操作方法と共に黒板に掲示することで、具体物の操作を伴った除法の考え方について振り返ることができるようにする。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                             | ○0を割ったり(何もないものを割る)1で割ったり(全体を1で割る)する計算場面が想像できない。<br>⇒他の整数の場面を例に挙げ、そこから一般化していくことで、0や1の場合についても理解できるようにする。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |
|                                                                                                 | 指導内容                                                                           | <b>問題を提示する</b><br>・教科書 p. 61 の問題①を読む。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>か</b> いくつ分が分からないときは、どうすればいいか。         </div> ・おはじきを使って、何人に分けられるか考える。<br>→3こずつ <b>まとめて分ける</b> と、4人に分けられます。<br>・減法、乗法、アレイ図での考え方を示し、どのように考えているか話し合う。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">教科書の図</div> |                                                                                                                                    |                                                                                                             | <b>問題を提示する</b><br>・教科書 p. 63 の問題②を読む。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>か</b> 何人に分けられるかを求めるわり算を計算でもとめるにはどうすればいいか。         </div> ・九九を使ってわり算の答えを求める。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">教科書の図</div> |                                                                                                                                                 |                                                                                              | <b>問題を提示する</b><br>・教科書 p. 65 の問題③を読む。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>か</b> 同じわり算になる2つの場面には、どんなちがいがあるか。         </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <b>【カルロスの問題】</b><br/>           6このパンを2人で同じ数ずつ分けると、1人分は何こになりますか。         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <b>【さくらの問題】</b><br/>           6このパンを1人に2こずつ分けると、何人に分けられますか。         </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">教科書の図</div> |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                        | <b>問題を提示する</b><br>・教科書 p. 119 の問題④を読む。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>か</b> 0のわり算は、どのように計算すればいいか。         </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <b>【カルロスの問題】</b><br/>           6このパンを2人で同じ数ずつ分けると、1人分は何こになりますか。         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <b>【さくらの問題】</b><br/>           6このパンを1人に2こずつ分けると、何人に分けられますか。         </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">教科書の図</div> |  |
| <b>教える</b><br>どの考えも「 <b>まとめて</b> 」分けている<br>$12 \div 3$ の式で、12を <b>わられる数</b> 、3を <b>わる数</b> という。 |                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | →図をかけ算の式にすると、 $5 \times \square = 20$ の $\square$ にあてはまる数を求めれば、それが $20 \div 5$ の答えになることが分かります。だから、 $20 \div 5$ の答えは、5の段の九九で求められます。 |                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                     | <b>【カルロスの問題】</b><br>$6 \div 2 = 3$ の式になるから、かけ算は $\square \times 2 = 6$<br><b>【さくらの問題】</b><br>$6 \div 1 = 6$ の式になるから、かけ算は $2 \times \square = 6$ |                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ・図で考える<br>→図のように、 $0$ は <b>いくつに分けても</b> $0$ である<br>・式で考える (式とその意味)<br>$6 \div 3 = 2$ 6個を3人で分けると1人分は2個になる<br>$3 \div 3 = 1$ 3個を3人で分けると1人分は1個になる<br>$0 \div 3 = 0$ 0個を3人で分けると分けるものがないから1人分は0個 |                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |
| <b>まとめる</b><br><b>ま</b> いくつ分をもとめるには、図や式を使って、 <b>まとまりがいくつできるか</b> を求めるといい。                       |                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | <b>まとめる</b><br><b>ま</b> 何人に分けられるかを求めるわり算も、九九を使って求められる。                                                                             |                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                     | <b>まとめる</b><br><b>ま</b> わり算の式になる場合は、<br>① 1人分の数を求めるとき<br>② 何人に分けられるかを求めるとき<br>があり、式は同じでも、考え方がちがう。                                               |                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <b>まとめる</b><br><b>ま</b> 0のわり算は、 <b>わる数がいくつであっても答えは0</b> である。                                                                                                                                |                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |
| <b>見届ける</b><br>・ p. 63 鉛筆問題 1 に取り組む。<br>→できた人は Web ラーニングに取り組む。                                  |                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | <b>見届ける</b><br>・ p. 64 鉛筆問題 3、4 ① に取り組む。<br>→できた人は残りの問題に取り組む。                                                                      |                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                     | <b>見届ける</b><br>・ p. 65 鉛筆問題 5 に取り組む。<br>→できた人は Web ラーニングに取り組む。                                                                                  |                                                                                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <b>見届ける</b><br>・ p. 66 鉛筆問題 1 ①④⑦ に取り組む。<br>→できた人は残りの問題に取り組む。                                                                                                                               |                                                                                                        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |  |

| 小単元          | たしかめ問題                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 読み取る力をのぼそう                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 評価テスト                              |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 時数           | 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 9                                  |
| ねらい          | 基本的な学習内容を理解しているか確認し、それに習熟する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 植木算について考える活動を通して、「木の数」と「木と木の間の数」の関係性に着目する中でその規則性に気づき、図を用いて説明することができる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | 学習の定着を確認する。                        |
| 評価規準         | 知①②③<br>ノート分析                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | ◎思①<br>行動観察・ノート分析<br>◎態②<br>行動観察・ノート分析                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | ◎知①②③<br>ペーパーテスト<br>◎思①<br>ペーパーテスト |
| 主なつまづきとその手立て | ○本単元の学習内容が定着していない。<br>⇒黒板に本単元で学んだことを掲示することで、いつでも振り返って確認ができるようにする。                                                                                                                                                                                                                                                               | ○30÷6と立式してしまう。<br>⇒問題場面を図に起こして考えさせる。交流活動を促すことで、仲間同士の話し合いで気付けるようにする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                    |
| 指導内容         | <p><b>問題を提示する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 p. 67～68 の確かめ問題に取り組む。</li> </ul> <p><b>か</b> いろいろな問題にチャレンジしよう。</p> <p><b>教える</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>練習問題を大問ごとに取り組む。</li> <li>大問ごとに各自で答え合わせをする。</li> <li>できた児童は、周りの児童に支援を行う。</li> <li>練習プリントに取り組む。<br/>→できた人から GIFUweb ラーニング</li> </ul> | <p><b>問題を提示する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 p. 69 の問題 <b>1</b> を読む。</li> </ul> <p><b>か</b> いろいろな場面のわり算について考えよう。</p> <p>・図を用いて考える</p>  <p>→図を使って考えると、木の数が6本するとき、木と木の間は全部で5か所になります。だから式は、<br/><math>30 \div 5 = 6</math><br/>だから答えは、6m になります。</p> <p>・木が7本の場合を考える<br/>→木が7本だとすると、木と木の間は全部で6か所になるから、<br/><math>30 \div 6 = 5</math><br/>だから答えは、5m になります。<br/>→つまり、木と木の間の数は、木の本数よりも1少なくなる！</p> <p><b>問題を提示する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書 p. 69 の問題 <b>3</b> を読む。<br/>→池の周りを考える場合は、木と木の間の数と、木の本数は同じになる。</li> </ul> <p><b>発展させる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身近な場面を取り上げ、どんなわり算の式になるかを考える。</li> </ul> |                                    |

8 本時のねらい

包含徐の場面について、具体物の操作などをもとに考える活動を通して、まとめて分けていることに気づき、包含徐の意味を理解して場面を除法の式に表すことができる。

9 本時の展開 (3/9)

| 過程                                                                                                                                                                              | 学 習 活 動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 指 導 ・ 援 助 ・ 評 価                                                                                                                                                                                                                                   |              |                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                 |  |                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| つかむ                                                                                                                                                                             | <p>1 問題提示</p> <p>問 いちごが12こあります。1人に3こずつ分けると、何人に分けられますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>分かれていることは「いちごが12こ」「1人に3こずつ分ける」です。</li> <li>聞いていることは「何人に分けられますか」です。</li> <li>前は、「1人分は何こになりますか」でした。今日はもう1人分が分かっています。</li> <li>前とはちがって、「何人に分けられるか」を聞いています。</li> </ul> <p>2 課題設定</p> <p>課 いくつ分が分からないときは、どうすればよいか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習の足跡 (1人分×いくつ分=全部、等分徐の考え方) を掲示し、振り返ることができるようにしておく。</li> <li>分かっていることに直線、聞いていることに波線を引き、前時までの学習との違いを明確にさせることで、本時の学習課題につなげる。</li> <li>個人追究の際には、答えを求めることのみならず、以下のポイントを意識させる。</li> </ul>                       |              |                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                 |  |                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 考える                                                                                                                                                                             | <p>3 見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前の時間と同じようにおはじきを使えばわかりそう。かけ算や図を使ってもできそうだな。</li> </ul> <p>4 個人追究</p> <table border="1" data-bbox="233 763 1632 1217"> <tr> <td data-bbox="233 763 672 994"> <p>【おはじきで考える】</p> <p>1人に3こずつ配るので、12このおはじきから3こずつまとめて分けていきます。そうすると、3のまとまりが4つできるので、4人に分けられることが分かります。</p> </td> <td data-bbox="672 763 932 994" style="text-align: center;"> <p>P62の図</p> </td> <td data-bbox="932 763 1632 994"> <p>【減法を用いて考える】</p> <p>1人に3こずつ配るので、12から3こずつまとめて引いていきます。そうすると、4回引いたときに残りが0になるので、1人に3こずつわけると、4人に分けられることが分かります。</p> <p>1人目 12-3=9<br/>2人目 9-3=6<br/>3人目 6-3=3<br/>4人目 3-3=0<br/>答え 4人</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="233 994 672 1217"> <p>【乗法を用いて考える】</p> <p>1人分が3こで何人に分けられるかを考えるので、3×□の式が12になる□を考えます。そうすると、3×4のときに12になるので、4人に分けられることが分かります。</p> <p>1人分 3×1=3<br/>2人分 3×2=6<br/>3人分 3×3=9<br/>4人分 3×4=12<br/>答え 4人</p> </td> <td data-bbox="672 994 932 1217"></td> <td data-bbox="932 994 1632 1217"> <p>【アレイ図を用いて考える】</p> <p>1人に3こずつ配るので、12このアレイ図から3こずつまとめて分けていきます。そうすると、3のまとまりが4つできるので、4人に分けられることが分かります。</p> <p>P62の図<br/>アレイ図</p> </td> </tr> </table> | <p>【おはじきで考える】</p> <p>1人に3こずつ配るので、12このおはじきから3こずつまとめて分けていきます。そうすると、3のまとまりが4つできるので、4人に分けられることが分かります。</p>                                                                                                                                             | <p>P62の図</p> | <p>【減法を用いて考える】</p> <p>1人に3こずつ配るので、12から3こずつまとめて引いていきます。そうすると、4回引いたときに残りが0になるので、1人に3こずつわけると、4人に分けられることが分かります。</p> <p>1人目 12-3=9<br/>2人目 9-3=6<br/>3人目 6-3=3<br/>4人目 3-3=0<br/>答え 4人</p> | <p>【乗法を用いて考える】</p> <p>1人分が3こで何人に分けられるかを考えるので、3×□の式が12になる□を考えます。そうすると、3×4のときに12になるので、4人に分けられることが分かります。</p> <p>1人分 3×1=3<br/>2人分 3×2=6<br/>3人分 3×3=9<br/>4人分 3×4=12<br/>答え 4人</p> |  | <p>【アレイ図を用いて考える】</p> <p>1人に3こずつ配るので、12このアレイ図から3こずつまとめて分けていきます。そうすると、3のまとまりが4つできるので、4人に分けられることが分かります。</p> <p>P62の図<br/>アレイ図</p> | <p>3こずつまとめて分けていることに着目することで、包含徐の考え方を理解できるようにする。特に考え方をノートにまとめる際には、図や言葉だけではなく、<b>操作の順序が分かるような記述</b>を行うように促し、「まとめて分ける」という操作の特徴が捉えられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①既習事項の掲示②学びのアイテムの用意 (おはじき・アレイ図) ③ヒントコーナーの設置 を行うことで、個々の学習状況に応じた学び方を選択できるようにする。</li> <li>“考え方”を説明させることで、根拠を明確にした意見づくりができるようにする。</li> <li>相手意識をもち、筋道立てた説明ができるよう、交流活動の際には以下の4つの視点を与える。</li> </ul> <p>① 順序立てて話すこと。(まず、次に、それから～)<br/>② これまでに学んだ算数キーワードを使うこと。<br/>③ ポイントを指し示しながら話すこと。<br/>④ かくにん言葉を使って話すこと。(ここまでいいですか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>メタモジノートで自分の考え方を表明し、全体で共有ができるようにする。その際に、</li> </ul> <p>① 考え方を確かにしたい人は同じ意見の児童同士<br/>② 考え方を広げたい児童は異なる意見の児童同士</p> <p>と交流するように伝え、目的意識をもって交流できるようにする。また、交流で得た新たな考え方をノートに追加する時間をとることで、交流を通して自分の考えを深められるようにする。</p> |
| <p>【おはじきで考える】</p> <p>1人に3こずつ配るので、12このおはじきから3こずつまとめて分けていきます。そうすると、3のまとまりが4つできるので、4人に分けられることが分かります。</p>                                                                           | <p>P62の図</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | <p>【減法を用いて考える】</p> <p>1人に3こずつ配るので、12から3こずつまとめて引いていきます。そうすると、4回引いたときに残りが0になるので、1人に3こずつわけると、4人に分けられることが分かります。</p> <p>1人目 12-3=9<br/>2人目 9-3=6<br/>3人目 6-3=3<br/>4人目 3-3=0<br/>答え 4人</p>                                                             |              |                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                 |  |                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| <p>【乗法を用いて考える】</p> <p>1人分が3こで何人に分けられるかを考えるので、3×□の式が12になる□を考えます。そうすると、3×4のときに12になるので、4人に分けられることが分かります。</p> <p>1人分 3×1=3<br/>2人分 3×2=6<br/>3人分 3×3=9<br/>4人分 3×4=12<br/>答え 4人</p> |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <p>【アレイ図を用いて考える】</p> <p>1人に3こずつ配るので、12このアレイ図から3こずつまとめて分けていきます。そうすると、3のまとまりが4つできるので、4人に分けられることが分かります。</p> <p>P62の図<br/>アレイ図</p>                                                                                                                    |              |                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                 |  |                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 深める                                                                                                                                                                             | <p>5 スクランブル交流→全体追究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おはじきの考え方は、3こずつまとめて分けています。</li> <li>ひき算の考え方は、おはじきと同じで、3こずつまとめてひいています。</li> <li>かけ算の考え方は、この前とはちがって、かける数を1ずつふやして考えています。</li> <li>アレイ図の考え方は、おはじきやひき算と同じで、3こずつまとめて分けています。</li> <li>どの考え方も、「3こずつまとめて分ける」という点が同じです。</li> </ul> <p>6 まとめ</p> <p>ま いくつ分をもとめるときは、「まとまり」で分けて、そのまとまりがいくつできるかを考えるとよい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>(深め) 全体追究の際に「<b>全ての考え方に共通するところは何か。</b>」と問いかけることで、いずれも3こずつに着目し、3個のまとまりで考えていること (包含徐の意味) を押さえる。</li> <li>「さらに考えよう」を用い、具体物の操作と除法の式とを対応させて捉えることができるようにする。</li> <li>NEW!GIFUWeb ラーニングを用いて、学習の定着をはかる。</li> </ul> |              |                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                 |  |                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| まとめる                                                                                                                                                                            | <p>7 包含徐の確認</p> <p>ホ 12このいちごを1人に3こずつ分けると、4人に分けられます。このことをわり算の式で、<math>12 \text{ (全部の数)} \div 3 \text{ (1人分の数)} = 4 \text{ (何人分)}</math> と書きます。<math>12 \div 3</math>の式で、12をわられる数、3をわる数といいます。</p> <p>→ポイントを確認したのちに「さらに考えよう」に取り組み、具体物の操作と式と繋げて押さえる。</p> <p>8 p. 63 鉛筆問題① →できた人から、プラスワンの問題及び GIFUweb ラーニングに取り組む。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | <p>&lt;評価規準&gt; 【知識・技能】① (ノート分析)<br/>【思考・判断・表現】① (行動観察・ノート分析)<br/>【主体的に学習に取り組む態度】① (行動観察・ノート分析)</p>                                                                                                                                               |              |                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                 |  |                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |